



和と力

3月号



売布小ホームページ

令和7年(2025年) 3月 3日

宝塚市立売布小学校

校長 藤山 昌生



雪の舞う大寒波が訪れたかと思えば、暖かさを感じる日もあり、冬眠していた虫たちも地上に姿を見せる季節となりました。自然の生命力を感じる春に季節は進みつつあります。みなさんにとってこの一年はどのようなものだったでしょうか。新しい学びや友だちとの出会い、そして様々な経験を通して、大きく成長したことと思います。この一年間の経験が、みなさん一人ひとりの未来につながる大切な一歩となることを心より願っています。

さて、ここ数日間、岩手県大船渡市や陸前高田市で発生した山火事のニュースが報道されています。大船渡市や陸前高田市は、2011年の東日本大震災で甚大な津波被害を受けた地域です。私自身、その年の夏にこれらの地域を訪れ、1週間のボランティア活動に参加しました。廃校となった学校を拠点に、現地の方々と共に支援活動を行いましたが、逆に多くの温かさや支えをいただいたことを今でも鮮明に覚えています。あの時、津波被害の大きさを目の当たりにし、遅々として復旧・復興が見えないもどかしさを経験しましたが、被災地のみなさんの強さや前向きな姿勢は、困難な状況においても希望を維持けることの大切さを教えてくださり、とても貴重なものでした。

それ以来、私は東北を訪れる機会を持てていませんが、今回の山火事のニュースに接し、再びあの時の記憶が蘇りました。大船渡市や陸前高田市のみなさんが再び困難に立ち向かっている姿を思うと、私たちも何か力になれないかと考えさせられます。



ボランティア後、大船渡市社会福祉協議会より
いただいたポロシャツのバックプリント

昨年1月に地震で被害を受けた能登では、地震からの復興を進めていた中での豪雨があったように、これからの人生の中では、様々な困難に直面することがあるかもしれません。しかし、どんな時でも周りの人々を支えられるよう助け合い、自分の役割を自覚し、前を向く力を持ってほしいと思います。そのために、今を大切にすること、学校で今勉強したり友だちと一緒に考えたりすることができることに感謝しながら、卒業、修了までの残り約3週間余りを、まだまだ前進できるようしっかりと取り組んでほしいと思います。

最後に、この1年間、本校教育活動へのご理解とご協力をいただきました保護者のみなさま、数多くの活動で学校を支援いただきましたPTA役員のみなさま、また、毎日の登下校の見守りや、教育活動の推進にご尽力をいただきました地域、学校運営協議会のみなさま、また売布小学校を支えていただきました全てのみなさまに心より感謝申し上げます。みなさまのご理解とご協力があってこそ、子どもたちの成長を見守ることができました。これからも引き続き、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。